

# 平成30年度大分県教育奨励賞受賞者一覧

No.	対象者種別		市町村	氏名(団体名)	主な活動内容	活動詳細
1	教職員	個人	中津市	村岡 敏江	学校と地域との連携及び交流活動の実践	平成27年に耶馬溪校に赴任後、地域の高齢者サロンや障がい者施設と生活福祉コースの生徒の交流を始め、生徒と共に地域行事への参加やボランティア活動など地域の人々から信頼される存在となる。また、積極的に地域の人々の中に飛び込み地域の高齢者の方を外部講師として教育活動に参加してもらったりと耶馬溪校の活性化に取り組んでいる。さらに、社会福祉協議会と連携し、多機能型地域生活拠点「まーちゃん家」を開設し、「だいだいクラブ」を発足。運営に参画している。
2	地域	個人	中津市	鍋島 政視	登校の見守り活動	平成18年から交通指導員として、毎朝通学路にて安全指導とあいさつ運動を実施し、児童の交通事故未然防止に貢献している。また、平成22年から学校評議員や少年補導員を務め、地域祭事や地区懇談会の中心となり、地区の三世代交流の推進や健全育成に貢献している。
3	児童生徒	団体	中津市	中津市立中津中学校生徒会	資源回収活動及び寄付	1996年より始め、今年で22年目の取組になる伝統ある生徒会活動である。毎年各学年で環境学習を行い「中津市のゴミ事情」「リサイクルの重要性」「私たちにできること」などを考えた後、年4回の資源回収を行っている。資源回収は生徒だけでなく保護者や地域の方も協力していただき、昨年は古紙だけで18,710kgを回収。その他一升瓶・ビール瓶・アルミ缶の回収を含めて得た収益で、毎年「電動ベッド」「車いす」を社会福祉協議会へ寄贈している。この活動は、ゴミを減らしリサイクルを増やすことで税金の有効活用にもつながっている。生徒の力でできることを考え実行することで社会に貢献している。
4	児童生徒	団体	中津市	中津市立緑ヶ丘中学校生徒会	資源回収活動及び寄付	本活動は、1991年の雲仙普賢岳噴火に伴い被害に遭った中学校へ寄付金を送る活動から始まった。27年間、毎年、生徒会が企画をして全校生徒で4000軒ほどの家庭を訪問し、地域の資源回収を行っている。その収益金を、車いすや介護福祉ベッドの購入にあて中津市社会福祉協議会へ寄付を行い、社会福祉に貢献している。
5	地域	個人	豊後高田市	河野 政士	児童・生徒の健全育成への貢献	田染地区健康推進協議会の会長として、田染公民館祭において、市子育て支援課と連携し、「子どもフェスタ」を開催し、子ども向けの講演会や体験活動を通して児童・生徒の健全育成に貢献された。また、田染地区健康サミットでは、健康体操等の活動を通して、地区住民や小中学生の健康の保持・増進にも貢献された。さらに、スクールガードとして長年、児童・生徒の安全指導にもご尽力された。
6	地域	個人	豊後高田市	水江 功治	地域の児童・生徒への教育活動支援	平成24年から平成29年まで、真玉中学校のコミュニティスクール推進委員会(学校運営協議会)会長として学校運営に對し的確な助言を行い、学校が抱える喫緊の課題や問題の解決解消に努めた。この間、スポーツ少年団指導者としての経験や地元小学校の元校長という経歴を通して生徒数減少による中学校部活動の存続等危惧される諸問題の解決や地域と学校との連携事業の推進にも尽力した。
7	地域	個人	豊後高田市	栢岡 忠彦	学習支援活動	豊後高田市の『学びの21世紀塾』において、寺子屋講座の水曜日講座(中学生1年、2年数学及び理科)と土曜日講座(小学生)の理科実験講座において、講師を4年間にわたって担当され、当市の子どもたちの学力向上及び理科教育の推進に大きく貢献している。さらに、豊後高田市少年少女発明クラブの講師でもあり、子どもたちの科学や環境問題に対する興味関心を高め、環境教育の推進に大きく貢献している。
8	地域	個人	豊後高田市	小川 誠一郎	学校教育支援活動	本校の学校運営協議会メンバーとなって7年目である。学校と保護者や地域がともに知恵を出し合いながら「地域とともにある学校づくり」を進める取組を中心になって行い、学校と地域が目指すべき連携・協働の姿に対し、建設的なご意見を数多くいただいている。具体的には、学校と地域住民のネットワーク化を推進している。また、隔週金曜日には「みんなで歩こうフライデー」の取組に賛同し、子どもたちの引率を欠かさず行うなど、本校の子どもたちの体力作りに大きく貢献している。
9	地域	個人	豊後高田市	小野 俊久	体験学習活動支援	5年前から高学年の総合的な学習の時間における活動の中で、しいたけ栽培に係わる学習の講師を務めるとともに、学校敷地内の一角に「シイタケ栽培園」を作り、コマ打ちや収穫などの実習してくれた。その他、スクールガードとして、子どもたちの安全を見守る活動や学校行事等への参加を通して、児童との積極的な関わりをしてきている。さらに人権擁護委員としても人権啓発に大いに貢献するとともに、昨年度は、大分合同新聞社の企画「飛び出せ学校」において子どもたちからの「シイタケ栽培」についての取材の中で、「シイタケ栽培」に賭ける思い、学校や地域の活性と発展への願いなどをわかりやすく語っていただいた。
10	地域	個人	豊後高田市	川合 利子	学習支援活動	豊後高田市の『学びの21世紀塾』において、寺子屋講座の中学生英語(英会話を含む)の講師や小学校外国語活動における外国語活動指導助手として6年間にわたって担当され、当市の子どもたちの学力向上や英語教育の推進に大きく貢献している。特に、小学校では、多様な文化やものの見方、考え方に気づかせ、積極的にコミュニケーションしていこうとする意欲を高める授業づくりに担任とともに教材研究をしていただいた。
11	地域	個人	豊後高田市	清水 美恵子	学校支援活動及び伝統芸能活動	高田中学校校区の学校支援コーディネーターとして、学校・家庭・地域が一体となった教育実践を行っており、子どもたちの健やかな成長のために地域の教育力向上に大いに貢献している。また、高田中学校、桂陽小学校、高田小学校、呉崎小学校の学校運営協議会の委員として、学校と地域が目指すべき連携・協働の姿に対し、建設的なご意見を数多くいただいている。さらに、地域の伝統的な呉崎音頭を小学生を中心に指導する中で復活させることに尽力し、地域の活性化に大いに貢献している。

12	教職員	個人	豊後高田市	尾島 慶子	英語教育の推進及び授業改善	平成26年から本市の学力向上戦略支援教員として、中学校英語科の授業改善や学力向上施策に取り組み、本市の学力向上に大いに貢献した。コミュニケーション能力を高めるため、ルームイングリッシュに取り組み、ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れた授業展開を行うとともに、「書く」「読む」「話す」「聞く」の4技能をバランスよく身につけるため、熱心な指導を展開した。授業公開も積極的に行い、指導力向上に努めた。さらに、校内では学力アップコーナーの担当として、放課後学習や個別指導のを行い、生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行った。
13	児童生徒	団体	豊後高田市	豊後高田市立高田中学校 吹奏楽部	地域貢献活動	高田中学校は、平成17年から福祉施設の訪問を行い、吹奏楽部による演奏を実施したり、高田中農園で栽培した野菜を届けたり、敬老の日に合わせてメッセージカードを送ったりして、交流を図っている。また、市内の行事には、オープニングやプログラム内での演奏を積極的に行い、地域貢献を行っている。参加要請も多い、地域の方々にも知名度も高く、放課後の短時間での練習であるが、一生懸命に部活動に取り組んでいる。
14	地域	個人	宇佐市	岡崎 憲一郎	体験学習活動支援	平成14年から16年間という長い間、ゲストティーチャーとして「大豆作り」「米作り」を児童や保護者に指導、また収穫後は大豆料理の指導や餅つきを行うなど、体験学習に貢献している。
15	地域	団体	宇佐市	読み聞かせグループ「聞いちよくれん会」	読み聞かせ活動	月1回朝の読書タイムの時間に、各クラスに入って読み聞かせを行っている。保護者OBや地域の方が中心になって、本に親しみ読書好きな子どもたちが育つことを願って、本の選定や購入も行って学校教育を支えてくれている。
16	地域	個人	宇佐市	安永 知賀子	登校の見守り活動	平成19年から11年間にわたり、毎朝児童の登校時刻に、宇佐市立長洲小学校近くの交差点で指導に立って、児童のあいさつ・交通安全指導に貢献している。その結果、児童は事故なく登校できている。
17	地域	団体	宇佐市	北部中学校読み聞かせサークル(H・Y・C)	読み聞かせ活動	17年前から中学校で地域の方々や生徒の元保護者が、毎月2回木曜日に隔週で朝読書の時間に各学級に入り、15分間読み聞かせをしている。読み聞かせや詩の朗読の実践を通じて北部中学校の生徒の読書率が向上し図書教育の発展に大きく貢献している。
18	児童生徒	団体	宇佐市	宇佐市立宇佐中学校	地域清掃活動	平成21年頃から宇佐神宮の夏越大祭に向けて7月上旬ごろに地域の20近い団体が共同して行っている文化財清掃奉仕活動に参加し、地域の人々と協力をしながら宇佐神宮及び周辺の環境美化に取り組んでいる。
19	地域	団体	国東市	「学びの教室」学習アドバイザー	放課後の学習支援活動	平成22年度から、児童の基礎学力の定着と学力向上を目指して発足。毎週水曜日及び月に1回、土曜日に元教職員等がプリントを作成し補充学習を行っている。元教職員が中心となって、分かりやすく丁寧に指導し、かつ、一人ひとりに応じたきめ細かく指導をされている。さらに、励ましの声掛けにより、児童のやる気を喚起し、学習意欲の向上に寄与している。
20	地域	団体	国東市	くにさき「学びの教室」伊美地区	放課後の学習支援活動	平成23年度から、校区の児童の学習支援を行っている。水曜の放課後、土曜日の午前中、長期休業中に国語・算数の基礎学力の定着と応用力の育成、理解の遅い児童への個別指導、学習規律の徹底を目標とし取り組んでいる。サポーターの方々には参加児童1人ひとりに対して、きめ細かに指導し、指導内容も的確である。中でもマス計算を年間を通して取り組むことで児童の力の伸びにつながり学習意欲も向上している。
21	児童生徒	団体	国東市	国東市立国見中学校	世界農業遺産の学習	国見中学校1年次に「世界農業遺産」についての学習を全盛とを対象に実施している。始めに外部講師が世界農業遺産についての講義を行い、その後学習したことをもとにため池等の現地学習を行う。そして、その学習の一環として地域の「榎来土手つき唄干本つき踊り保存会」とも連携し、踊りの指導を行う。踊りの学習を通して、当時の人々の願いやため池への思いを学ぶことができる。学んだことは、学校での文化祭や「国東市教育の里づくりの集い」「世界農業遺産サミット」にて発表し、外部への発信を行っている。
22	地域	個人	杵築市	野上 美喜子	学習支援活動及び見守り活動	大田小学校が開校した5年前から、大田ふるさとづくり協議会の役員や交通指導員として、また個人的にも、「大田ふるさと学習」の支援活動(いも作り・米作り等)や「徒歩通学」の指導、「読み聞かせボランティア」や「食育学習指導」「公民館活動」等、年間を通して全面的に支援をして頂いている。大田小学校は大田地域の2校の小学校が統合した学校であり、それ以前を含めると20年以上、学校の支援をして頂いている。
23	地域	団体	日出町	トロロの会	読み聞かせ活動	平成13年度から18年間にわたり、豊岡小学校で、月2回朝の時間(8:25~:8:40)に全クラスを対象に読み聞かせを行っている。その結果、本好きな児童が多く育ち、読書活動推進に大きな役割を果たしている。
24	児童生徒	団体	別府市	別府市立別府北部中学校生徒会	ワンストップ礼運動	本校のあいさつの「ワンストップ礼」は、通称「北中坂」では通行する人に「立ち止まって一礼」のあいさつ運動が約10年前から実施されている。学校運営協議会やPTAと生徒会の協議委員会と生活、保体、美化、文化の4委員会が連携して毎月第2週の5日間、正門で7時30分から8時00分までの30分間実施している。全校の5割の生徒が参加している。地域から延べ40人、PTA役員が延べ30人の参加があり、本校の伝統として受け継がれ、校区内の小学校とも連携した「あいさつの推進」が9年間の子どもの育成の柱となっている。
25	地域	個人	別府市	宮崎 勝義	体験学習活動支援	平成27年から、学校との連携により、5年生に田植えや稲刈りの指導を行うなど、伝統文化の継承に貢献している。また、田んぼに苗を植える準備や田植え後の水の管理、雑草取り等を行うなど、児童に対してきめ細かな支援をしている。

26	地域	個人	大分市	釘宮 慶一	学習活動支援	大分舞鶴高校同窓会館で同窓会事務局長として、また本校生徒の自習スペースである同窓会館の管理運営に従事。毎日14時に解錠し21時に施錠。年末年始、休日、祝日も含め年中無休で開館。16年間にわたって本校生徒の自主学習を支えた功績は感謝しきれないほどである。
27	地域	個人	大分市	安部 泰史	伝統芸能継承	伝統ある鶴崎踊りを通して地域の文化並びに歴史を次世代に継承していくため、地元鶴崎地区の児童や生徒の踊り指導に尽力されている。(鶴崎小学校→週1回、研修部の方が学校訪問し、直接指導。大分鶴崎高校→本番1ヶ月前から、鶴崎踊愛好会(生徒有志)のメンバーに直接指導。) その他、大分市の「地域多世代ふれあい事業」の推進、鶴崎地区の「子ども食堂」の発起・設立・運営に世話人という立場で中心的に携わり、地域振興及び発展に寄与されている。
28	地域	団体	大分市	大分「何でも作る会」	体験活動(勤労生産学習)支援	2年生を対象に畑でサツマイモの苗植えから収穫までを行う。 5年生を対象に田植えから稲刈り、脱穀を行う。 幼稚園児を対象にサツマイモの苗植えから収穫までを行う。 幼稚園児を対象に各種野菜作りに取り組んでいる。
29	児童生徒	団体	大分市	大分県立情報科学高等学校	ボランティア清掃活動	本年6月9日、大分銀行ドームで開催されたラグビー日本代表戦に向け、全校生徒による清掃活動を実施した。会場に近い本校では教育活動の一環としてラグビー日本代表戦観戦をすることもあり、当日は県内の小中高生をはじめ、世界中から沢山の観戦者をきれいな環境でお迎えし、共に楽しく観戦してもらうため、大銀ドームの4万席の雑巾がけや会場回りのゴミ拾いをするボランティア清掃活動を全校で実施した。大分の印象をよくする一助として清掃活動は今後も継続したい。
30	児童生徒	団体	臼杵市	臼杵市立東中学校生徒会	災害ボランティア活動	平成7年度より継続してアルミ缶回収による寄付、平成28年度よりあいさつ運動による地域のあいさつの輪づくり、平成29年9月17日台風18号による大きな被害に対して、多数の生徒が自主的に校区の幼稚園やお年寄りの家庭に出向き、災害復旧ボランティアとして活躍した。
31	地域	団体	臼杵市	臼杵市退職校長会	学校環境整備及び学校行事支援	小中学校及び支援学校の校長退職者が任意加入してできた組織であり、教育振興部の活動として、草刈活動など環境整備面での学校支援や、学校行事である中学校駅伝市内大会では交通面で生徒の安全確保にあたるなど教職員の負担軽減を考えた活動にとりくんでいる。また、臼杵市教育委員会主催の小中学生の基礎学力定着を目的とする「放課後子ども教室」の学習指導員として協力している。
32	地域	団体	臼杵市	臼杵市中3生教室講師団	学習指導活動	中学校の教職員経験者で構成され、臼杵市教育委員会が主催する「中3生公民館教室」や各中学校での放課後の補充学習の取組に協力し、講師として生徒へ直接学習指導を行っている。対象が主に中学3年生のため、生徒が希望の進路に進めるよう、日々学習内容や指導方法・受験対策等について研究している。H27年8月からH30で4年目
33	児童生徒	団体	津久見市	津久見市立堅徳小学校 なかよし班	福祉交流活動	堅徳小学校児童が、平成20年より校区の特別養護老人ホーム「白梅荘」のみなさんと交流会を実施。全校縦割り「なかよし班」ごとに活動することで、全校児童の関わりを深めるとともに、地域の福祉活動に貢献している。
34	児童生徒	団体	津久見市	津久見市立堅徳小学校 6年生	水害復興こいのぼりプロジェクト	堅徳小学校の6年生が、今年度4月～5月にかけて、水害で大変な思いをした学校や地域のみなさんを元気づけるために、家庭で眠っている「こいのぼり」の寄付を募り、校庭に約160匹の「こいのぼり」をあげる災害復興の応援活動。
35	児童生徒	団体	津久見市	津久見市立第二中学校生徒会	災害復旧活動	昨年9月の台風18号により、甚大な被害を受けた出身小学校のことを心配した第二中学校の生徒たちが、お世話になった母校である堅徳小学校と青江小学校を訪れ、校舎内やグラウンドの土砂の撤去作業を教職員や地域の方々と一緒にやった。その献身的な働きぶりは母校を慕う気持ちに満ちていた。 さらに、生徒会が行った「復興バザー」は、被災した地域の方々への生活支援となり、益金のうち、15万円が義援金として、生徒会長から教育長に手渡した。
36	児童生徒	団体	由布市	三代目源流少年隊	伝統芸能普及活動	由布市無形文化財に指定されている「豊の国ゆふいん源流太鼓」の指導を受け、毎週2回に湯布院公民館にて練習。この無形文化財を後世に残していきたいという思いで、伝統芸能活動を行っている。 平成29年度 第20回日本太鼓ジュニアコンクール(石川県金沢市)にて優勝
37	児童生徒	団体	由布市	庄内子供神楽愛好会	伝統芸能普及活動	庄内地区系の神楽を継承する庄内子供神楽は、青少年の健全育成と非行防止、庄内神楽の後継者育成を目的として、昭和51年3月に結成。 各地域でのお祭りやイベントのアトラクション、福祉施設の慰問等があり、県内外を問わず年間約60回程度の公演している。
38	教職員	個人	佐伯市	河内 均	主体的な生徒会活動の指導	平成9年度より20数年に渡り佐伯市内4校の中学校における生徒会活動を「主体的な生徒会」にするべく、生徒会の自治、生徒の生徒会に対する意識改革、生徒の積極的な行事参加、生徒自身で自発的に動く生徒会組織作り等の指導を行った。その結果、各校の生徒会の活性化が実現し、リーダーシップを取れる多くの生徒の誕生を生んでいる。更に4中学校共にソーランの踊りを体育祭種目に入れ、チーム学校の意識を高める等道徳的な見地からも優れた指導力を発揮している。
39	地域	団体	佐伯市	ボランティア直川	体験学習支援	直川小学校において、直川地区の特性を生かした体験学習サポートと福祉体験活動に取り組んでいる。 平成22年度から9年間、児童とお茶摘み体験学習を行い、摘んだ葉は新茶として加工した後、児童と試飲をする。また、お茶の葉を、高齢者施設へ贈呈し、高齢者との交流を深めている。

40	地域	個人	竹田市	奥村 英一	伝統芸能伝承活動	平成5年に、小学校4年生以上の募集を行い、「荻町子ども神楽クラブ」を立ち上げ、今年で25周年を迎える。神楽の上達はもとより、神楽を通して思いやりの気持ちや正しい礼儀を身につけてほしいと願って取り組んできた。練習してきた成果は、「大野川源流祭り」を始め、数多くの行事で発揮している。25年の長きにわたり指導者として取り組んだことで、子どもたちは伝統文化のすばらしさに触れて愛郷心が育まれてきた。このように、奥村さんの活動は地域に根ざした子どもの育成に大きく貢献している。
41	地域	個人	竹田市	小笠原 順子	体験活動支援及び子ども食堂	平成28年4月に東京都から竹田市に移住し、子育てに関する企画を提案する「竹ノ haco」を立ち上げ、「ころざしno種まき」をコンセプトに「志」「感性」「郷土愛」を盛り込んだ竹田市でしかできない教育プログラムを展開。小学生等を対象に世界で活躍する専門家等を講師にした「タケハコ教室」、世代を超えて繋がる「TAKETAつながる食堂」、家庭で眠る昭和の8ミリフィルムを集め子どもたちと市民と映画を制作する「竹8シネマプロジェクト」、元オリンピック水泳日本代表の経歴をいかし市内小学校で水泳教室の開催、講演活動など、竹田市ならではの方法で子どもたちに学ぶ場を与え、地域の活性化にも繋げている。
42	児童生徒	団体	竹田市	大分県立三重総合高等学校久住校 うし部	畜産振興活動	九州唯一の農業系の部活動として「うし部」を発足 平成21年から、本校の畜産教育の特色を活かして、牛の管理や共進会への参加等で生徒の学習意欲を高め、将来の畜産後継者の育成を目指して毎日の放課後、活動している。また、地域畜産農家や県農林水産部指導センター畜産研究部との連携も積極的に取組み、久住校から農業大学校総合畜産科への入学を毎年輩出しており、県や地域の畜産振興に係る期待が大きい。昨年度、県下の高校を代表して、第11回全国和牛能力共進会特別復興出品区高校の部に出場をはたした。今年度は、県共進会の一般の部の第4区に出品挑戦中で地区予選を第2席で通過中である。
43	地域	団体	豊後大野市	朝地町通学合宿ボランティア	通学合宿	子どもたちの「社会力」の育成を図るために、家庭・学校・地域が一体となって、将来に向けて社会的に自立した協調性のある個人の育成を目的とした事業。小学校6年生を対象に、学校に通いながら、自分たちの食事の準備から後片付け、掃除、洗濯等を協力して3泊4日(平成30年度)の合宿生活を体験させる。平成12年度から19年続く活動。当時の朝地町教育委員会(公民館活動)が主催し、ボランティアを募集して実施。ボランティアの多くは初回から事業に関わっている。
44	地域	個人	豊後大野市	首藤 義夫 首藤 文江	しげまさ子ども食堂及び体験活動学習支援	「地域の子どもを、地域で見守り育てる!」をコンセプトに活動。 子ども食堂を第2、4土曜日15:00～19:00、無料学習支援を毎週金曜日17:00～19:00、げんき広場を子ども食堂開催日の15:00～17:00(及び不定期)に開催。 様々なカタチの居場所を通じて子どもと大人が知っている関係をつくり、地域で見守り育てる子どもにやさしいまちづくりを地域のサポーターや学生の協力を得ながら進めている。
45	児童生徒	団体	日田市	大分県立日田林工高等学校	地域貢献活動	地域と連携した自然保護活動をボランティア活動として全校生徒で取り組んでいる。 ・11月第2週に開催される地域の行事「日田千年あかり」での環境問題(竹林の荒廃等)解決につながる活動
46	地域	個人	日田市	諫山 茂太賀	体験学習活動支援	15年間にわたり、毎年5年生に、昔ながらの田作り・田植え・草取り・稲刈りの体験学習を支援している。また、体験だけではなく、自然環境についてや食の大切さ、働くことの大切さ、そして農業が科学的な根拠をもとにしていること等も、子どもたちに伝え続けている。
47	地域	団体	日田市	三和原団地梨組合	体験学習活動支援	20年間にわたり、毎年3年生に、梨の花粉付け・袋かけ・収穫という1年間にわたる体験学習を支援している。子どもたちは、自然の不思議さや秘密、梨を作ることの大変さや苦勞、そして喜びなどを学んでいる。また、収穫の際は保護者も一緒に活動して交流を深めている。
48	児童生徒	団体	日田市	大分県立日田三隈高等学校PTA	災害復興支援ボランティア活動	平成29年7月23日(日)に、PTAの呼びかけにより、本校生徒15名、保護者13名、教職員7名(合計35名)が、九州北部豪雨被災地を訪問して、土砂の撤去やゴミの収集・片付けなどのボランティア活動を行った。被災地域住民への声かけや高校生らしい心配りが喜ばれた。本校生徒にとっては、地域に学ぶ者としての自覚が高まり、地域貢献やボランティア活動への意識の向上が図られた。地域に開かれた学校を目指している本校としては、PTAと連携を深めながら今後も地域との関わりを重視した教育活動を展開していく。
49	地域	個人	九重町	高瀬 賢大	伝統芸能普及活動	九重樽太鼓の代表者である高瀬さんを中心に、淮園小学校にゲストティーチャーとして、太鼓や鈴・笛の音やリズムづくり、演奏の指導を行っている。 また、本校の学校行事である「三世代祭り」の演奏のほかにも、玖珠郡教育文化祭、公民館祭り、老人ホームを慰問しての演奏時には、九重樽太鼓のコンテナ車で運搬等の支援、やぐら太鼓や用具等の貸し出しも行っている。
50	児童生徒	団体	玖珠町	大分県立玖珠美山高等学校 地域産業科うつくし推進隊	地域貢献活動	地域と連携した自然保護活動を地域産業科(農業)の授業で取り組んでいる。 ・地域住民と大分県絶滅危惧種レンゲツツジの保護活動 ・「九重の自然を守る会」と九重山系の登山道の整備活動
51	地域	個人	玖珠町	麻生 長三郎	米作り体験学習の指導	麻生長三郎氏は、平成19年より本校5年生の米作り体験学習の指導に深く関わってきた。 麻生氏の地道な取り組みにより、子どもたちは地域の人々に愛着を持つとともに、勤勞の大切さを学んでいる。

52	地域	団体	玖珠町	森中央小学校 学びの教室「寺子屋」	放課後補充学習指導	<p>森中央小学校 学びの教室「寺子屋」は、平成21年度に玖珠町の事業として始まり、今年で10年目を迎える。現在の指導体制は、地域の方々に構成される、学習アドバイザー11名となっている。毎週月曜日15時頃から1時間(年35回程度)2・3年生35名を対象にして算数の補充学習を実施している。児童一人一人の学びに合わせた指導を続けており、1年間、この教室で学んだ子どもたちは、「筆算が速くなった、引き算が大好きになった。」や「優しく教えてくれたのでよくわかった。」また「かけ算が苦手だったけど、好きになった。」などの声を寄せている。</p> <p>年度により参加者の数が減り心配したこともあったようだが、常に子どものことを第一に考え、教え方やほめ方を工夫した結果、現在のようなたくさんの子どもたちが参加となっている。おかげで、子どもたちの学力の定着に大きな成果を上げている。</p>
53	地域	団体	玖珠町	塚脇小学校 学びの教室「寺子屋」	放課後補充学習指導	<p>塚脇小学校 学びの教室「寺子屋」は、平成21年度に玖珠町の事業として始まり、今年で10年目を迎える。現在の指導体制は、地域の方々に構成される、学習アドバイザー16名となっている。毎週月曜日15時頃から1時間(年35回程度)2・3年生35名を対象にして算数の補充学習を実施している。児童一人一人の学びに合わせた指導を続けており、1年間、この教室で学んだ子どもたちは、「筆算が速くなった、引き算が大好きになった。」や「優しく教えてくれたのでよくわかった。」また「かけ算が苦手だったけど、好きになった。」などの声を寄せている。</p> <p>年度により参加者の数が減り心配したこともあったようだが、しかしながら、常に子どものことを第一に考え、教え方やほめ方を工夫した結果、現在のようなたくさんの子どもたちが参加となっている。おかげで、子どもたちの学力の定着に大きな成果を上げている。</p>
54	地域	団体	玖珠町	北山田小学校 学びの教室「寺子屋」	放課後補充学習指導	<p>北山田小学校 学びの教室「寺子屋」は、平成21年度に玖珠町の事業として始まり、今年で10年目を迎える。現在の指導体制は、地域の方々に構成される、学習アドバイザー15名となっている。毎週金曜日15時頃から1時間(年35回程度)2・3・4年生全児童を対象にして算数の補充学習を実施している。児童一人一人の学びに合わせた指導を続けており、1年間、この教室で学んだ子どもたちは、「筆算が速くなった、引き算が大好きになった。」や「優しく教えてくれたのでよくわかった。」また「かけ算が苦手だったけど、好きになった。」などの声を寄せている。</p> <p>常に子どものことを第一に考え、教え方やほめ方を工夫しており、学級担任と意見交換を行うなどして指導力の向上に努めている。おかげで、子どもたちの学力の定着に大きな成果を上げている。</p>
55	地域	団体	玖珠町	八幡小学校 学びの教室「寺子屋」	放課後補充学習指導	<p>八幡小学校 学びの教室「寺子屋」は、平成21年度に玖珠町の事業として始まり、今年で10年目を迎える。現在の指導体制は、地域の方々に構成される、学習アドバイザー8名となっている。毎週金曜日15時頃から1時間(年35回程度)2・3・4年生全児童を対象にして算数の補充学習を実施している。児童一人一人の学びに合わせた指導を続けており、1年間、この教室で学んだ子どもたちは「筆算が速くなった、引き算が大好きになった。」や「優しく教えてくれたのでよくわかった。」また「かけ算が苦手だったけど、好きになった。」などの声を寄せている。</p> <p>常に子どものことを第一に考え、教え方やほめ方を工夫しており、学級担任と意見交換を行うなどして指導力の向上に努めている。おかげで、子どもたちの学力の定着に大きな成果を上げている。</p>
56	地域	個人	全県	木ノ下 勝矢	特別支援学校における 防災教育	<p>文部科学省の防災モデル実践事業において、平成26年度以降特別支援学校がモデル校として指定されている。</p> <p>平成26・27年中津支援学校、平成27年佐伯支援学校、平成28年南石垣支援学校、平成29年新生支援学校のモデル校をはじめ、県下の特別支援学校においてそれぞれの実情に応じた実践的な取組に係る計画の検討及び防災訓練等に係る実践的取組の検討について適切な指導助言をいただいている。</p>